高浜地区振興会　広報

鳩の峯

No.29
2013
10.1
平成25年10月1日

白鶴浜の夕景

精霊流しも無事終った8月下旬の白鶴浜からの夕日のワンショットです。

白鶴浜からの夕日も春･夏･秋･冬と各季節ごとに様々な顔を見せてくれますが、これほど真っ赤な夕日も珍しいものでした。

何か今年の猛暑の夏を象徴するかのような“夕景”でした。

次はどんな顔を見せてくれるのでしょうか。秋の夕景もまた楽しみです。

主な内容

フィールドワーク…… 2P
出前講座…… 2P
イカダ下り…… 2P
精霊流し…… 3P
秋季例大祭…… 3P
虫追い…… 3P
井戸端会議…… 3P
敬老会…… 4P
グラウンドゴルフ大会…… 4P
編集後記…… 4P

高浜フィールドワーク

今年も7月13日から15日まで、九州大学藤原教授の呼びかけで現状の高浜をどうにか活性化できないかと、参加された学生、社会人達に高浜の町を散策してもらい、高浜を少しでも、どうにかならないか？色々な視点で考えてもらった。そのお蔭で少し高浜のまちも人が多くなった様な3日間だった。まず、トランセクトウォークで始まり、民泊受入れ、朝市グラウンドゴルフ、夢高まる浜夕日コンサート等色々なことが過ぎた。そして、今回はその活動状況を新聞にて発行したり、PCで発信してもらったりと、盛り沢山のフィルドワークでした。

ふいるどわくわく新聞から

高浜をあるく！偶然の出会い しめ縄作りがつなぐ縁

（造形作家　有馬晋平さん）

早朝朝市に参加し、旅館に帰る途中、八坂神社に集まる人々を見つける。聞けば、年に1度のお祭りの日で、年齢層高めの方々が地域総出で、神社の鳥居につけるしめ縄を作っているという。神社の前にはわらが積まれ、これを材料にするようだ。

わらを木づちでたたく人、葉を取り除く人、わらを小さくたばねる人、別の所では細かい縄をなう人。スムーズな流れ作業が完成している。

そんな流れに興味がわき「木づちでわらをたたけ!!」という誰かの声に素直にしたがう。不眠の私は変な汗をかきながら、力をふりしぼった。その後、わらをたばねる作業、しめ縄をねじる作業を手伝い、道半ばであるが朝の時の集合時間までしめ縄作りを体験することができた。

完成後には、地元の魚介類をつまみに宴をひらくという。偶然とはいえ、しめ縄作りの体験で高浜という地域の身をもって感じることになった。

しめ縄作りに参加

東京から久保さん

福岡の尾方さん　上田家役宅見学

天草地区公民館 出前講座

あまくさカレッジ 折り紙教室に参加して

天草小学校6年　徳本 ナミ

徳本ナミさん

私は、あまくさカレッジ折り紙教室に参加して、人のこと・生きることが絵本を通じてたくさん知ることができました。折り紙では、楽しく作ることができ、読んでくださった絵本は、私も大好きな心温まる本でした。お話や折り紙、絵本などを通して人にやさしく、自分らしく、これからを生きてゆきたいなと強く思いました。参加して良かったなと思います。

出来上がった折り紙

高浜子ども会 イカダ下り

平成25年8月11日(日)高浜子ども会では、恒例のイカダ下りを行いました。

これまでは高浜小学校の行事として行われてきましたが、3月の閉校に伴い、今年は子ども会で取り組みました。

高浜子ども会会員(35名)は、5艘のイカダに乗り込み、午前10時　高浜子ども会会長(大脇貴広さん)の合図のもと峰平の高浜川をスタートし、白鶴浜のゴールまで力を合わせて漕ぎ出しました。

子どもたちはオールを川に落としながらも、少しずつ慣れていたようです。

この時間少し上げ潮で、苦戦しながらもお父さん方のかじさばきとお母さん方の応援のおかげで無事ゴールの白鶴浜にたどり着きました。

また、子どもたちは、イカダ下りの高浜川に海ガメの子どもやウナギを見ることができました。

最後は白鶴浜で海水浴を楽しんだ後、みんなでスイカをほおばりました。

お盆前の楽しい1日になったようです。

農協付近

江端付近

高浜精霊流し

隣峰寺　葛籠貫直隆

お盆の終わり8月15日に、この高浜地区の毎年の恒例行事となる『高浜精霊流し』は実行委員会の皆様をはじめとするたくさんの人の協力のもと行われました。

今年の春、この高浜に来た私にとって初参加となりました。今年初盆を迎えられたお宅それぞれで精霊舟をつくり、それをたくさんの人で担ぎ、花火を鳴らしながら皆で海岸まで運び行われました。

私の生まれた大分県の地元では精霊流しという風習はなく、生まれて初めて体験した精霊流しというものに、とっても思い深く感じました。

時代と共に少しずつ大きさや形は変わってきたけれど、その中にあるこの高浜の人たちの思いは変わらず今もなおこの行事を行ってきているということに何か温かいものを感じることができ、また私自身が携わることが出来たことはとてもありがたい事だと感じることができました。

早い時間からたくさんの人で準備をし、たくさんの人の手によって送られるこの精霊流しというものは、私にとってこの夏の大切な思い出となりました。

また、大きな怪我や事故もなく無事行えた事に感謝し、これからも精霊流しが続いていくことを願っています。　合掌

高浜新港に集合した精霊舟

高浜八幡宮 秋季例大祭

9月8日、高浜八幡宮秋季例大祭が行われました。

雨も心配された曇り空の下、まだ残暑の汗ばむ中を午後1時八幡様を御立ち。

最初の御旅所の上河内・秋葉神社を皮切りに各迫の御旅所を巡り、白木・天満宮を最後の御旅所として神幸行列が練り歩き、道中賑やかに奉納されました。

虫追い祭り

6月23日(日)豊作の祈願祭である虫追い祭りを実施しました。

高浜地区では、30年前に途絶えていた祭りを復活させたもの。

午前8時、高浜八幡宮で神事を行い、その後堀切、大庵から内野の田んぼを竹の先に五色の旗をなびかせ、稲の害虫を追い払い、今年も豊作であるよう祈願し、道中を歩きました。

最後は農協裏の高浜川で旗に付いた虫を流して終わりました。

農協裏の高浜川

井戸端会議

6月11日の大庵皿山地区を皮切りに、7月4日の宮の平まで自治公民館を会場に8地区で井戸端会議を開きました。

行政に対しての意見や生活儀礼のこと、高浜の活性化のための意見など様々な意見が交換されました。

松下での井戸端会議風景

今後の予定

十月

13日(日)　体育祭

十一月

10日(日)　グラウンドゴルフ大会

平成二十六年一月

3日(金)　天草地区成人式

7日(火)　おね火

温かい善意のご寄付ありがとうございます

寄付金は高浜地区振興会の活動に有効に活用させていただきます。

香典返し

小林八榮子様（故・川崎ミツ子様）中向
江浦　秀明様（故・下川道興様）松下
玉田　務様（故・玉田縫枝様）諏訪

一般寄付（広報郵送料）

松本　清司様

高浜地区

（平成25年9月1日現在）

人口	1,348人
男	618人
女	730人
世帯数	665戸
高齢化率（65歳以上）	594人（44.1%）

敬老会

9月16日(月)　高浜地区コミュニティセンターにおいて高浜地区敬老会が開催されました。

敬老会出席者は144名で、式典の後は、さわやかランド池田講師による「若さを保つための講演」があり、会場は笑いにつつまれました。演芸では、西海荒波太鼓の勇壮な太鼓を皮切りに、天草小学校6年生8名による元気な「よさこいソーラン」の踊りと5年生3名による作文の発表がありました。

また、江浦シゲルさんの「さくら・さくら」、四十雀会の「ひょっとこ踊り」などの踊りが披露され、会場は大いに盛り上がりました。

最後に出席者には、ぶどうを栽培されている白崎さん、山田さん、二ノ宮さん、宮口さんから提供いただいた「高浜ぶどう」の配布もありました。

天草小学校6年生による踊り

救急の日グラウンドゴルフ大会

9月9日(月)から9月15日(日)は救急医療週間となっており、9月9日の「救急の日」に合わせて天草広域連合中央消防署西天草分署が主催し、天草市並びに天草町グラウンドゴルフ協会の協力もいただきながら、「第6回『救急の日』グラウンドゴルフ大会」が開催されました。

平成20年から毎年開催され、6回目となる今年は、町内から22チーム、133名の参加があり盛大に開催されました。大会当日は好天に恵まれ、参加者全員が最後まで楽しくプレイされ、年齢差を感じさせない熱戦となりました。

競技終了後には、病気や怪我への応急手当や、国内で多く発生した熱中症の予防及び対処法などの救急講習会が開かれ、参加者は熱心に耳を傾けられていました。

閉会式には、消防署から用意された各賞品の抽選会を行い、多くの方が賞品を手にされ大盛況のうちに幕を閉じました。

救急の日グラウンドゴルフ表彰式

編集後記

まだまだ、残暑が厳しい日が続きます。猛暑もたいがいにして欲しいものです。

ところで、皆さんにご紹介したいもの（花）があります。左の写真です。これは、中向・松原さん宅の玄関脇に咲いていました。その名も〝サクララン〟と言うそうです。草花に無縁な私は知りませんでした。花が桜の花びらの様なことからそう言うそうです。聞く所によると花を球体の様にして咲くそうです。花にも色々あるんですね。

酷暑の夏も過ぎて、この花のように爽やかな季節が早く来るといいですね。

■発行日／平成25年10月1日　■編集・発行／高浜地区振興会（42-1111）　■印刷所／石本印刷所